

報道関係者各位
PRESS RELEASE

2018年6月4日

HomeAway 株式会社
一般社団法人全国古民家再生協会
楽天 LIFULL STAY 株式会社

ホームアウェイ、全国古民家再生協会、楽天 LIFULL STAY の3者で 古民家活用の認知拡大、地域活性化を目指した業務提携を締結 ～古民家をバケーションレンタルに活用し、全国に訪日外国人を送客～

エクスペディアグループで、世界 190 カ国で 200 万件以上のユニークでバラエティーに富む物件を有する、世界最大級のバケーションレンタルサイトのホームアウェイ（本社：米国テキサス州オースティン）、一般社団法人全国古民家再生協会（本社：港区北青山、理事長：園田 正文、以下「全国古民家再生協会」）、楽天 LIFULL STAY 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：太田 宗克、以下「楽天 LIFULL STAY」）は、古民家をバケーションレンタルとして活用し、国内外の旅行者に向けて、古民家の認知・価値拡大と地域の観光活性化を加速させることを目的とした業務提携について、本日 6 月 4 日に合意しました。

3 者は本提携により、古民家をバケーションレンタルのための物件として活用することで、国内外の旅行者に向けて古民家や地域の魅力を発信し、長期滞在してもらうための取り組みを強化します。本提携の一環として、全国古民家再生協会では古民家を宿泊施設として利用する場合の基準となる「古民家宿泊鑑定」を設けます。本鑑定制度は、20 項目（注 1）からなり、全国古民家再生協会が認定する古民家鑑定士がそれぞれの古民家を鑑定することで、安心・安全な物件開発を担保します。鑑定済みの古民家には「古民家宿泊鑑定済ロゴ」（図 1）が発行され、そのロゴは対象物件にステッカーとして貼られるため、訪問者や観光客に認知されやすくなるとともに、ホームアウェイのサイト上でも「鑑定済古民家物件」として紹介されます。ホームアウェイは、世界 190 カ国、月間 4,000 万人のサイトに訪問する旅行者に対し、鑑定済みの物件をはじめとした古民家および各地域の魅力を訴求し、様々なマーケティング活動を通じて長期滞在を促します。楽天 LIFULL STAY 株式会社は、全国各地で古民家物件の開発支援と運用を担っていきます。

本提携を受け、全国古民家再生協会は、より多くの方々に古民家の所有・利用をより身近なものに感じてもらうべく、「古民家オーナーズクラブ」を設立しました。「古民家オーナーズクラブ」では、一軒の古民家を複数名で共同所有することでその費用負担を軽減し、古民家オーナーになる敷居を下げることができます。「古民家オーナーズクラブ」に所属するオーナーは、古民家を共同所有するだけでなく、オーナーズクラブ内の他の古民家にも宿泊することができます。全国古民家再生協会の調査（注 2）によると全国には約 128 万戸の古民家が存在しています。全国古民家再生協会では、その中でバケーションレンタル物件として再生可能な物件が半分以上となる約 64 万件以上であると試算しています。しかし、多くの場合、古民家を宿泊施設として再活用するためにはリノベーションが必要になります。全国古民家再生協会は、このたびの「古民家オーナーズクラブ」を通じて、古民家の所有者になるための敷居を下げること、宿泊可能な古民家数を増やし、より多くの方が古民家での宿泊を楽しめるようになることを目指します。

ホームアウェイが世界 7 カ国の約 1,000 人に実施した調査結果では、ホームアウェイのメインユーザーである家族・グループ層の約 90%以上が、古民家宿泊に興味を持っていることがわかりました（図 2）。訪日外国人は、日本の文化・歴史について関心を持っており、日本人の暮らしを体験することを望む傾向が見られます。家族・グループでの長期滞在を好む訪日外国人にとって、古民家滞在は魅力的な旅行目的になることが期待できます。

2018 年 4 月の訪日外国人客数が前年同月比 12.5%増の 290 万 1 千人となり（注 3）、日本のインバウンド需

要は着実に増加し、今後も体験を重視した消費が増えると予想されています。3者は、本提携を通じて様々なインバウンド需要に対応すべく、古民家の活用を積極的に推進してまいります。

■本提携イメージと各社の役割

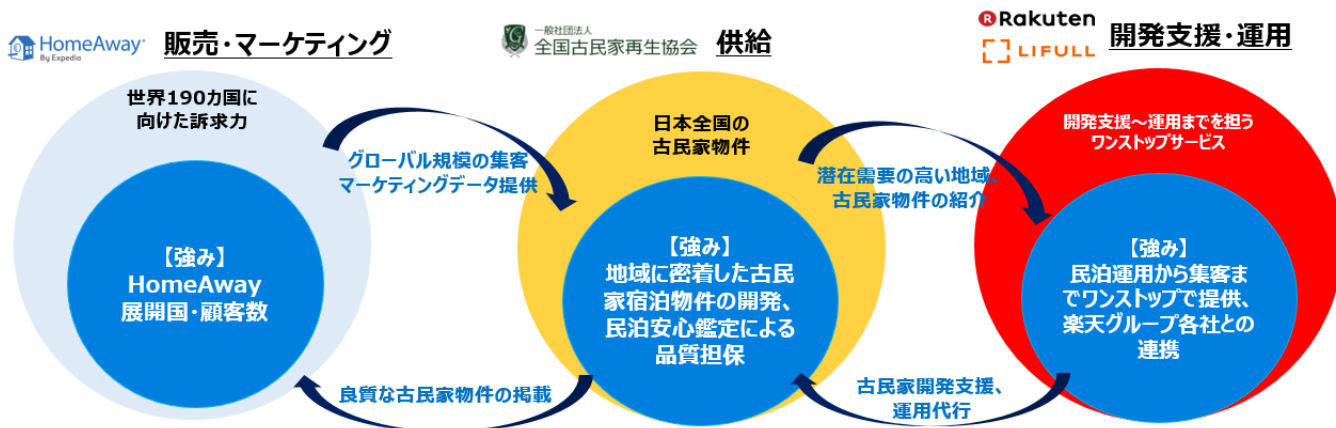
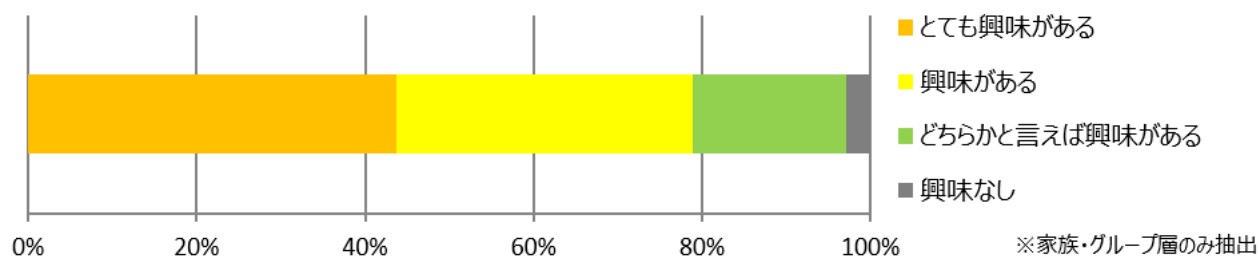


図 1 : 「古民家宿泊鑑定済ロゴ」



図 2 : HomeAway 古民家利用意向



調査対象：米国、イギリス、フランス、シンガポール、香港、オーストラリア、ニュージーランドの7カ国の18歳以上1,021人を対象に調査を行いました。2018年4月実施。

注1：20項目の例として耐震性、気密性、快適性、古民家に値するか、などが挙げられます。

注2：2018年5月 全国古民家再生協会調べ

注3：日本政府観光局 2018年5月17日の報道発表資料より

https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/pdf/180517_monthly.pdf

<ホームアウェイ>

設立年月：2005年 所在地：米国テキサス州オースティン

事業内容：ホームアウェイは、エクスペディアグループに属し、テキサス州のオースティンに本社を置く世界最大級のバケーションレンタルサイトです。世界190カ国、200万件以上のバラエティーに富んだユニークな物件を、オンラインで予約できるプラットフォームを運用・提供しています。「丸ごと貸切る」物件に特化し、一緒に旅する仲間、家族とより快適でプライベートな時間を過ごして頂き、一生涯記憶に残る最高の思い出作りのお手伝いをしております。複数人で宿泊される場合の高いコストパフォーマンスも魅力の一つとなっています。一方、物件をお持ちのホスト様には、より多くの宿泊者を世界から集客し、物件の登録から予約の管理まで簡単にオンラインで完結できるようサービスを提供しております。ホームアウェイの詳細に関しては (<https://www.homeaway.jp>) をご参照ください。

<一般社団法人全国古民家再生協会>

設立年月：2011年 所在地：東京都港区北青山2-7-26

事業内容：全国古民家再生協会は14,000名の古民家鑑定士資格者を創出し、全国各地に残る日本の住文化である「古民家」を未来の子どもたちへ継承するために活動をおこなう各地の一般社団法人古民家再生協会が構成される国内唯一の全国組織です。古民家が再利用可能かどうか、会員である古民家鑑定士が建物の品質を調査するインスペクション業務を実施し、古民家を残していけるよう提案を行うなど取り組んでいます。また、古民家のデメリットである「地震への安全性」「寒い・暗いの解消」「維持管理の方法やメンテナンススケジュールの明確化」などを多くの人に享受いただくため、専門家も含まれる、再築基準検討委員会にて、古民家の再築（改修方法）ガイドラインを作成しています。

<楽天 LIFULL STAY 株式会社>

所在地：東京都千代田区大手町一丁目9番2号

大手町フィナンシャルシティグランキューブ3F

代表者：代表取締役 太田 宗克

事業内容：民泊に関するプラットフォーム事業など

設立年月：2017年3月

ウェブサイト：<https://www.rakuten-lifull-stay.co.jp/>

以上